

テレマン没後
250周年記念

指揮：延原 武春

18世紀音楽を専門とする指揮者・オーボエ奏者。1963年にテレマン室内オーケストラを創設。彼らを率いて「文化庁芸術祭・優秀賞」（関西初）、「第17回サントリー音楽賞」（現在もテレマンと東京交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない）等を受賞。

1982年、初演当時の編成とベートーヴェンの指定したテンポで「第九」を演奏（世界初）。2008年にはベートーヴェンの交響曲全曲を、作曲家指定のテンポとクラシカル楽器を使用して指揮。この公演が引き金となってドイツ連邦共和国より「功労勲章功労十字小綬章」が贈られた。



ヴァイオリン：浅井 咲乃

テレマン室内オーケストラ、ソロコンサートマスター。

2007年にヴァイオリン・ソリストとして登場し、ヴィヴァルディの「四季」全曲を見事に好演。2010年の第195回定期演奏会における同曲の公演も「いま、もっとも聞きたい「四季」と言ってよい」（モーストリークラシック2011年2月号）という高い評価を得ている。2012年にはナミレコードよりヴィヴァルディ「四季」全曲、「ムガール大帝」などを収録した1stアルバムを、2015年には2ndアルバム「『よろこび』と『かなしみ』」をリリース。2016年から2017年にかけて、オリジナル楽器によるベートーヴェン作曲ヴァイオリン・ソナタ全曲公演に出演。



10/6 Fri.
19:00 (18:30開場)

御霊神社儀式殿

入場料 3,000円

■ご予約・お問い合わせ

ガゼボⅡ
〒541-0048 大阪市中央区瓦町 1-1-2 グランピア瓦町 1F
090-5677-4123
madame_gazebo_7@docomo.ne.jp

*未就学児童のご入場は御遠慮頂いております。
*出演者、曲目等、やむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

主催：船場賑わいの会実行委員会 後援：御霊神社・船場げんきの会・船場三水区

ヴィヴァルディとテレマンの饗宴

第3回御霊神社に響く
賑わいのパロックス2017

リコーダー：北山 隆

関西でいち早くリコーダー演奏を手がけ、大阪音楽大学卒業後プロの演奏家としてデビュー。1974年大阪国際フェスティバル協会の海外派遣文化交流員として渡欧。またテレマン室内管弦楽団のドイツ招聘演奏旅行に4回ソリストとして参加。リコーダーの演奏に対して絶大なる評価を得る。大阪音楽大学付属楽器博物館館長、同付属図書館館長を歴任。この間に世界の音楽、楽器に目を向け、人と楽器のあり方を研究し、現在、リコーダー演奏・指導と共に手作り楽器を通して音楽の喜びを伝えている。大阪音楽大学名誉教授。藤田より改姓。



チェンバロ：高田 泰治



2010年NHK「クラシック倶楽部」にて取り上げられ、モーツァルト「ピアノ協奏曲第12番」を好演。また同年よりモーツァルトのピアノ協奏曲全曲演奏に着手（2012年に完結）。2011年J.S. バッハの作品に対するアプローチが高く評価され、バッハ・アルヒーフ（ライプツィヒ）の定期演奏会に招聘。2014年にベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲を公演予定。U.ブンディース（ヴァイオリン）とデュオを結成しドイツ各地で演奏活動中。平成28年度咲くやこの花賞「音楽部門」受賞。

テレマン室内オーケストラ

延原武春の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を邦初演。「サントリー音楽賞」を受賞した日本初のプロオーケストラでもある。その他の主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」（関西初）等。2003年バッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演。C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。2007年クラシカル楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」の演奏で「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞。

Program

A. ヴィヴァルディ

弦楽のための協奏曲「田舎風」
「四季」より「春」
ソプラニーノ・リコーダー協奏曲

G.Ph. テレマン

ホーランド風協奏曲
トリオ・ソナタ d-moll
リコーダー組曲



■交通 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅13番出口より 徒歩5分
地下鉄四ツ橋線 肥後橋駅6番出口より 徒歩6分